

令和元年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

守谷市 解答と解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	アーカスプロジェクトは、茨城県が主催(守谷市なども共催)し、「芸術を通じた地域づくり」を推進する芸術文化事業です。この事業では、もりや学びの里を拠点として、国際的に活動するアーティストが滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスプログラムと、地域の方々が主体となって芸術文化活動に関わる場づくりや地域の活性化を促す地域プログラムを展開しています。これまでにアートを通して、国籍や世代を超えた様々な交流が生まれています。	3
2	守谷市は、水量が豊富な利根川、鬼怒(きぬ)川、小貝川の3つの大きな川に囲まれ、それが大きな工場の立地の条件の一つといわれています。	4
3	守谷市の花に制定されている花は、ヤマユリです。山里に、また深山に白く咲く姿は、清楚で柔軟ななかにも、凜然とした感じがあります。また、芳しい香りを漂わせて、まさに、自主・自立の高貴な人のようです。	1
4	もりや学びの里は、前大井沢小学校を社会教育施設として用途を変更し、一般貸出しを行っているものです。講座研修室、創作工芸室、陶芸窯、音楽活動室、和室、体育室、運動広場、バーベキュー施設を有しています。	2
5	守谷市は、1990年(平成2年)11月にドイツ連邦共和国バイエルン州マインブルク市、そして1993年(平成5年)8月にアメリカ合衆国コロラド州グリーリー市と2つのまちと姉妹都市締結をしています。	4
6	守谷市の面積は35.71平方キロメートルで、県内では最も面積の小さい市です。東西7.5平方キロメートル、南北7.2平方キロメートルと円を描くような形になっており、市域の大半が常総台地に属し、海拔平均20メートルの台地が広がっています。	2
7	カワウソ弁天は、平将門(たいらのまさかど)が鬼門(きもん)避(よ)けにまつたといわれています。(鬼門:陰陽道(おんみょうどう)で邪悪(じゃあく)な鬼が出入りするとして嫌(きら)われていた方角で、北東を指します。)	3
8	作者の明珍宗矩(みょうちん むねのり)はもと土佐藩に仕えていた甲冑(かっちゅう)師で、明治維新後、甲冑を作る手法を活用して「熟鉄製海老」を作成しました。	1
9	守谷ハーフマラソンは、1984年(昭和59年)から始まりました。毎年約6,000人を超えるランナーたちが健脚を競って参加されています。種目は、ハーフマラソンの部、5キロメートルの部、3キロメートルの部そして2キロメートルの部の4つの部門から構成されています。	2
10	妙見八幡社(みょうけんはちまんしゃ)が守谷城中よりうつされたといわれています。西林(さいりん)寺と親しかった小林一茶(こばやしいつさ)が詠(よ)んだ俳句の中に、平将門(たいらのまさかど)に関するものがあります。「梅さくや平親王の御月夜(我香集(がしゆんしゅう)1811年(文化8年))」「蚊の声や将門殿の隠し水(七番日記 1810年(文化7年))」	4
11	守谷市の木に制定されている木は、マツ(松)です。マツは、枯れ落ちても二つの針葉が固く結びついています。これは夫婦の相和(あいわ)するのに似て、人生における幸福の基本を表し、市の発展を約束しているようです。	2
12	Pasar(パサール)守谷(上)りは高速道路のSA(サービスエリア)として、全国では初となる「防災拠点化」が施されています。首都圏直下型地震など広域災害が発生した際に、自衛隊、警察機関、消防機関、医療機関、報道機関などの迅速な活動を支援するための拠点として重要な機能を発揮します。	4
13	四季の里公園は、面積約2ヘクタール、斜面地は囲まれた谷となっており、工業団地の造成の際は現状の地形・特色を生かし、自然の景観・雰囲気重視の公園です。一番の特徴となるのは、池を囲んだ形でつくられたハナショウブ・アヤマが植えられており、毎年6月頃には見ごろになり、多くの方が訪れます。	3
14	守谷市の鳥に制定されている鳥は、コジュケイ(小緞鶏)です。朝夕、雛(ひな)を連れて集う姿は、家族仲良く一家が繁栄するようです。	1
15	水(Mizu)と緑(Midori)のまち、守谷(Moriya)の3つを意味するイニシャルMをモチーフに、未来に羽ばたく姿をイメージしたもので、小さな円は太陽をイメージし、輝きと活力を表します。	3
16	大円(だいえん)寺の木造釈迦如来座像は、檜(けやき)の一本造(いちぼくづくり)で、作者は不明ですが、像容には関東における平安末期の定朝容(じょうちょうよう)の特色が見て取れます。左足を外側にして結跏趺坐(けつかふざ)することから、当初は薬師如来(やくしにょらい)であった可能性があります。1689年(元禄2年)、当時の領主であった一色直興(いっしき なおよ)が大修理をさせたことが像内に墨書(ぼくしょ)されています。なお、この仏像は、1803年(共和3年)7月1日から1か月間、江戸浅草寺中の金蔵院(こんぞういん)に出開帳(でかいちょう)したことが「武江年表(ぶこうねんびょう)」に記載されています。	2
17	1615年(元和元年)、徳川家康(とくがわ いえやす)が鷹狩りのため家来とともに守谷を訪れたといわれています。折悪しく、川が氾濫して渡船が困難になりました。その時、家康が船頭に「がまん(我慢)をして舟を渡してくれ」と懇願(こんがん)し、船頭が我慢をして船を渡したので家康一行は無事、現在の千葉県側に渡ることができたといわれています。それ以来、この渡しを「がまん(我慢)の渡し」と呼ぶようになったと伝えられています。	4
18	夏の土曜日の夕方、市庁舎の中庭を会場に「市民参加型のコンサート」を毎年実施し、各回の最終プログラムとしてプロの音楽家を招き、サークルの発表だけでなく本格的な音楽に触れる機会を市民に提供しています。アマチュア(市民サークル)とプロが同じ舞台上で演奏する「タペのコンサート」は数が少なく、守谷市の夏のイベントとして定着しています。	1
19	子どもたちが家々を訪ねて集めたしめ縄やだるま、護符(ごふ)や幣束(へいそく)、正月飾り等を燃やし、シノダケの先にモチを刺して、この火であぶって食べると風邪をひかないといわれています。毎年1月中旬に、守谷市の地区ごとに行われている行事です。全国各地では左義長(さぎちょう)やどんど焼きと呼ばれるものです。	3
20	総延長4キロメートルの遊歩道ネットワークを歩くと、緑いっぱいの中、水辺を野鳥が飛び交い、守谷の自然を体全体で感じることができます。今後、自然環境や野鳥生息環境の保全増進、自然学習・市民の皆さんの憩いの場としてなど、さまざまな効果が期待できます。	2
21	市内に約2キロメートル間隔で10か所に気象観測機器を設置することで、市内の気象情報がリアルタイム・ピンポイントで情報を入手することができます。防災対策への利用のほか、イベント時の天候確認など、幅広い活用ができます。POTEKAの名前はポイント・天気・観測の略を組み合わせたものです。	4
22	グリーンカーテンで育てたホップを使い、守谷市と包括連携協定を締結している株式会社DHCのグループ会社である株式会社DHCビールでの醸造(じょうぞう)を経て完成したビールは、平成30年度生産分の5,000本が完売となりました。	1
23	日本中央競馬会(JRA)所属の女性騎手です。競馬とは関係のない家庭で育ちましたが、小学校6年生の時にテレビ中継を見て騎手を志すようになったそうです。藤田騎手のデビューで3年ぶりにJRA所属の女性騎手が復活しました。	2
24	神奈川県南足柄市長から「新潟の被災地を視察した際、地震発生直後に県外から応援にきた市の活動を視察されて、救助・応急復旧を迅速に行うには他県の市町村との相互応援が必要である」との考えから、守谷市に協議がありました。また、両市にはアサヒビール株式会社の工場があり、企業を介した両市民の行き来があること、また、離れた地域にあることから災害時において相互応援協定がより効果を現すと考え、2005年(平成17年)7月19日に締結に至りました。	3
25	7月の最終土曜日に行われる八坂神社の祇園祭(ぎおんさい)は北総(ほくそう)三大祇園祭とよばれ、お神楽(かぐら)をはじめ神輿(みこし)の巡幸も繰り出され、約3万人を超える人々の参拝を受ける祭です。この祇園祭は幟(のぼり)祭りとも呼ばれており、他の神社で例を見ない数多くの幟が立てられます。幟は大神を天から呼び寄せる依代(よりしろ:神霊が依りつく対象物)として立てるものといわれています。	4